

**平成30年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立みさか小学校長

平成30年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語と算数と理科の3教科を実施しました。

国語と算数の2教科については、主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」に分けて実施しました。理科は、主として知識に関する問題と、主として活用に関する問題をあわせて実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語A	70.7%					○
国語B	54.7%					○
算数A	63.5%					○
算数B	51.5%					○
理科	60.3%					○

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	90.8%			○		
書くこと	73.8%				○	
読むこと	74.0%					○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	67.0%					○

【考 察】

- 「書くこと」では、昨年度の課題であった文章全体の構成の効果を考える力を改善するために、日記や作文などを書く学習で、効果的な文章構成について継続的に指導してきたことで成果を上げることができました。
- 「読むこと」では、特に、物語文の登場人物の心情について、情景描写を基に捉える問題で成果が現れました。今後の物語文の指導でも、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える学習を継続して行い、自分の考えを明確にしながら読む力を高めていきます。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、漢字を正しく使う問題で課題が見られました。特に、第5学年の配当漢字の正答率が低かったので、授業や家庭学習も活用して漢字の復習を継続的に行っていきます。また、文章を書くときに、既習の漢字を積極的に使うことで、さらに定着を図ります。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	64.6%					○
書くこと	45.6%					○
読むこと	50.8%					○

【考 察】

- 「話すこと・聞くこと」では、互いの立場や意図を明確にしながら、計画的に話し合うことに関する問題で成果が現れました。昨年度に引き続いて、授業で話し合い活動を取り入れながら、考えを広げたりまとめたりできるようにしてきた結果です。しかし、話し合いの中で、司会の役割を捉える問題では正答率が低かったので、今後は、話し合う目的や役割をさらに明確にして、計画的に話し合うことができるように指導していきます。
- 「書くこと」では、国語Aと同様、目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考える問題で成果が現れました。今後も、文章を書くときに、読み手が理解しやすい文章となるように構成を考えながら書く指導を継続して行っていきます。
- 「読むこと」では、目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことができるかどうかをみる問題の正答率が低く、課題が見られました。今後は、授業で単一の文章を読んで終わりにするのではなく、関連する書籍や文章も読みながら分かったことや考えたことをまとめる活動を取り入れ、複数の情報を比較、分類したり、関係付けたりする力を高めていきます。

【算数A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	62.3%					○
量と測定	72.7%					○
図 形	56.9%				○	
数量関係	60.1%					○

【考 察】

- 「数と計算」では、数直線上に問題場面の数値を表したり、1に当たる大きさを求めたりする問題が大変よくできました。授業の中で、数直線を使った問題解決の仕方について繰り返し学習してきた成果が現れましたので、今後も続けていきます。
- 「量と測定」では、分度器を使った 180° よりも大きい角の求め方が大変よくできました。一方、面積が同じときの人の数の違いによる、混み具合を調べる問題の正答率が低めでした。問題場面の把握がより明確になるように、具体物操作などの量感を育てる学習をさらに充実させていきます。
- 「図形」では、円周率を求める式を答える問題の正答率がやや低めでした。用語を覚えるだけでなく、その意味を理解するなど、基礎基本がしっかり定着するよう、繰り返し指導していきます。
- 「数量関係」では、百分率や、折れ線グラフから変化の特徴を読み取る問題が大変よくできました。今後も必要な情報を場面に応じて適用する力を高めていきます。

【算数B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	58.4%					○
量と測定	52.4%					○
図 形	59.9%					○
数量関係	45.1%					○

【考 察】

- 「数と計算」では、示された考えを解釈し、条件を変更した場合についてもその方法を適用して数量関係を言葉と数を用いて記述する問題が大変よくできました。今後も友だちの考えの意図を読み取る活動を通して、数学的に考える力を伸ばしていきます。
- 「量と測定」では、折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、友だちの説明に続くように書く問題に成果が現れました。一方、表に整理して考える問題が、他の問題より正答率が低い傾向が見られましたので、日常生活場面と関連させながら、表に整理する良さを感じ取らせるように指導していきます。
- 「図形」では、なぜその角度になるのかを説明する問題がよくできました。
- 「数量関係」では、「32、40」の二つの数の和が9の段の数になる理由を、問題場面から見出した関係を基に、分配法則を用いた式に表す問題が良くできました。言葉や式、図で説明する学習を多く取り入れたことが、成果へとつながっていると考えられます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
物 質	59.8%					○
エネルギー	53.1%					○
生 命	73.6%					○
地 球	49.5%					○

【考 察】

- 各領域で全国平均を上回りました。特に自然事象への関心・意欲・態度と知識・理解の分野の数値が高いです。質問紙の回答でも、理科の学習が好きと答える児童が大変多くいました。今後も、学習に意欲的に取り組み、基礎基本となる事項を理解できる理科の学習の充実を図っていきます。
- ろ過の適切な操作方法の問題が全国平均を下回りました。正しい観察・実験の技能が身に付く学習活動をより多く取り入れていきます。
- 問題を理解し条件を考えながら解決する能力を育てるために、日常の自然の事象を推論しながら調べ、課題を設定し、実験・観察を通して相互関係や規則性を見つけ出していく学習に継続して取り組んでいきます。また、科学的な思考・表現力を向上させるため、自分の考えを表現する学習を今後も続けていきます。

平成30年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立みさか小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していきたいと思ひます。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合つて、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

1 普段（月～金）、授業以外にどのくらいの時間を学習していますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	12.5	16.8	36.9	23.8	7.4	2.5
6	みさか小	7.9	6.3	54.0	25.4	4.8	1.6

(単位 %)

【考 察】

- 本校では、6年生の学習の時間の目安を70分以上（10分×学年＋10分）としていますが、本校において1時間以上学習している児童は約7割で、全国平均とほぼ同じでした。
- 毎日の家庭学習が1時間未満の児童が、まだ3割程度いるので、全児童が70分以上の家庭学習に取り組めるように「家庭学習の手引き」や「生活ノート」を活用して、学習時間や内容のチェックなどを行い、学校と家庭とで連携しながらより良い学習習慣作りにつとめていきます。

2 自分で計画立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかとい えばしている	あまり していない	全く していない
小	全 国	30.7	36.9	24.7	7.6
6	みさか小	27.0	41.3	23.8	7.9

(単位 %)

【考 察】

- 「している」「どちらかといえばしている」を合わせると、約7割で、全国平

均とほぼ同じ結果でした。今年度は、4年生以上の「生活ノート」に自主学習の計画を立て、終わった後にチェックする欄を設けています。自己マネジメント力を育てるため、今年度より始めました。計画→実行→見直しのサイクルで自分の学習をマネジメントできるよう、今後も「生活ノート」を活用して指導していきます。

- より効果的な計画を立てて取り組んでいる児童を紹介したり、自主学習ノートをコピーして掲示したりするなどして、家庭学習への意欲を高め、計画的に取り組めるよう指導していきますので、ご家庭でも励ましの言葉をお願いします。

3 普段（月～金）、授業以外に1日当たりどのくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
小	全 国	7. 8	11. 5	21. 8	25. 1	14. 9	18. 7
6	みさか小	4. 8	4. 8	25. 4	33. 3	15. 9	15. 9

(単位 %)

【考 察】

- 「10分以上30分未満」の児童が全国平均より多く、「1時間以上」の児童が少ない結果となりました。昨年度より時間が短くなっていることから、時間的に多忙な高学年児童に対し、どのように読書に取り組ませていくかが課題です。今後も、図書ボランティアによる読み聞かせや、マイブックバックを活用しながら、本の楽しさを知り、自分で読書する時間を作るなどの意識改革を図っていけるようにします。
- 本校では、学校司書が配置されています。図書の本がスムーズに貸し出しできるシステムを最大限に有効活用し、読みたい本、授業に関係ある本などを短時間で見つけ出し、充実した読書環境を整えられるようにしていきます。
- ご家庭でも、親子で一緒に読書を楽しむなどの時間の確保にご協力ください。

4 自分にはよいところがあると思いますか。

		当てはまる	どちらかといえ ば当てはまる	どちらかといえ ば当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	41. 2	42. 8	11. 6	4. 3
6	みさか小	30. 2	47. 6	17. 5	4. 8

(単位 %)

【考 察】

- 全国平均を下回る結果となりましたが、昨年度と比較するとよくなっています。より児童が自分の良さを実感できるよう、学校生活全体で、児童の良いところに目を向けた褒めて伸ばす指導をさらに充実させていきます。
- 学校では、子どもたちが友だちの良いところを紹介する「きりりカード」の実践

をしています。その活用を図り、全校朝会や放送、お便りなどを使って子どもたちに自信をもたせていきます。ご家庭でも、子どもたちにその子の良さを伝えることを意識した生活をお願いいたします。

5 5年生までに受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

		当てはまる	どちらかといえ ば当てはまる	どちらかといえ ば当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	29.1	47.6	19.0	4.2
	みさか小	31.7	49.2	14.3	4.8

(単位 %)

【考 察】

- 全国平均を上回っており、本校児童が主体的に学習に取り組んでいることが分かります。本校では「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、「授業スタンダード」を活用し、子どもたちが進んで学ぶ学習を促す授業改善を進めています。その成果が現れてきています。
- 今後も、子どもたちのやる気を高める学習課題の設定や、主体的な学習を促す授業の工夫を考え、実践していきます。